

# 在宅看取りにおける家族介護者の介護と仕事の両立支援に関する研究

研究分野:在宅看護 公衆衛生看護学

キーワード:在宅看取り・家族介護者・介護と仕事の両立・訪問看護師

貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 看護学科 講師 安野敦子

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/yasuno1993/>

## 研究概要

日本では高齢化とともに多死社会を迎え、国民の多くは住み慣れた自宅で最期まで過ごすことを望んでいます。家族への負担などから自宅での療養は実現困難と考えている実態があります。また、就労する家族介護者も年々増加し、介護を理由に離職・転職した人は年間10万6千人(2022年)と報告されています。介護による離職は経済的な困窮に陥るなど社会問題となっており、家族介護者が介護と仕事を両立することは喫緊の課題です。そこで、以下の2つの研究を行いました。

### ①終末期療養者を在宅で看取る家族介護者の介護と仕事の両立のプロセス

在宅で終末期療養者を看取る家族介護者が介護と仕事を両立させたプロセスを明らかにすることを目的として家族介護者を対象に質的記述的研究を行いました。家族介護者の介護と仕事の両立のプロセスには、在宅介護の体制を確立していく、仕事と働き方を調整し介護とのバランスをとる、死が迫っていると認識し可能な限り寄り添う、看取りの経験を意味づけるという4つの段階があることが分かり、家族介護者が最期まで療養者に寄り添えるよう医療や生活支援、働き方への助言を行うことや療養者との死別後に看取りの経験を意味づける重要性を示唆しました。

### ②終末期療養者を在宅で看取る就労家族介護者への訪問看護師の支援

在宅で看取る就労家族介護者に対する訪問看護師の支援を明らかにすることを目的として訪問看護師を対象に質的記述的研究を行いました。訪問看護師は療養者と家族の意向を尊重確認し、情報共有を密にすること、療養者の病状を予測しながら家族介護者の仕事の調整や介護休暇の取得を促す支援を行っていることが明らかとなりました。

## 産学連携の可能性(アピールポイント)

在宅で最期まで療養者の介護を行いたいと思っている家族が、仕事と介護の両立を支援するための家族介護者を対象とした講座や保健・医療・介護・福祉関係者等に対する教育支援が可能です。

## 外部との連携実績等

- ①公益財団法人日本尊厳死協会九州支部・ながさき理事
- ②一般社団法人日本ALS協会長崎県支部会員
- ③NPO法人らいふながさき理事
- ④全国保健師長会長崎県支部会員